

日光国立公園 満喫プロジェクト

NIKKO is NIPPON

自然・歴史・文化 美しい「日本」を感じられる東京圏のプレミアムリゾート

(数値目標) 外国人利用者数 19万人(2015年) → **50万人(2020年)**
外国人宿泊者数 9.6万人(2015年) → **25万人(2020年)**

特徴①

滝・渓谷・湖を堪能する水のアクティビティと多様な温泉

華厳の滝、中禅寺湖、戦場ヶ原、鬼怒川、塩原渓谷など、水を巡る多くの見どころで、トレッキング、ラフティング、キャニオニング、カヌーなどのアクティビティと様々な泉質・色の温泉を堪能

- 東武日光駅構内に**英語対応可能な「日光コンシェルジュ」が常駐し、宿泊施設や現地ガイド、現地発ツアー等の予約手配を実施**
- 中禅寺湖でのSUP、那須のスキー場でのスノーサイクリングなど、**水や雪に関連した新たなコンテンツを開発**
- H29.7.10、H30.2に、海外向けメディア、外国人ガイド等を招聘して**ファミトリップを実施**

特徴②

世界レベルの文化を有する歴史的国際観光地

世界文化遺産「日光の社寺」、中禅寺湖畔の旧大使館別荘、ロイヤルリゾート「那須高原」など日本の歴史・文化を堪能

- H29.6より、**那須平成の森フィールドセンター**において皇族が親しんだ那須の自然を感じながら休めるよう、**地元カフェの試験出店を開始**
- ラグジュアリーホテルの進出などを見据え、富裕層を含む幅広い層を受け入れる環境整備や、旧大使館別荘の活用を検討 (H29より検討開始)
- 外国人にも対応できるプレミアムなツアーのためのガイド育成システムの構築 (H29より着手)

特徴③

東京圏で日本の自然・歴史・文化を体感

東京からわずか2時間で日本の高原の自然や歴史文化を体感できることを活かし、交通事業者と連携した取組を推進

- JRの栃木ステイションキャンペーンパンフでの国立公園紹介、全国の旅行会社を集めた**商談会や現地視察(H29.4)の実施**
- 東武鉄道「SL大樹」(H29.8)、JR「いろは」(H30.4)の運行開始、**日光と那須をつなぐバス**(日光那須満喫ライナー)の運行(H29春秋、H30春)など、交通事業者との連携による強力な誘客
- パーク&バスライドやシャトルバス運行などの実施による渋滞対策



日光国立公園満喫プロジェクト 中間評価

目標の達成状況 外国人利用者数が1.4倍、宿泊者数が1.3倍に

●総評

- 外国人利用者数は2015年比で約143%、宿泊者数は約131%と、年々増加している。
- 多言語化や二次交通の整備など、民間も含めて多様な取組が進んでおり、外国人利用者の満足度も高い。
- 今後は、ガイド育成やコンテンツ充実をさらに進め、宿泊割合や冬季利用の増加につなげていく必要がある。

●訪日外国人国立公園利用者数(2020年目標 50万人)

2015年 2016年 2017年
19.0万人 → 24.1万人 → 27.1万人
(5.1%) (5.0%) (5.1%) ※()は標準誤差

●訪日外国人国立公園周辺宿泊者数(2020年目標 25万人)

2015年 2016年 2017年
9.6万人 → 11.5万人 → 12.6万人
(栃木県調べ)

●国立公園での訪日外国人旅行消費額

- 2017年度 外国人観光消費単価 43,901円
- 国立公園周辺外国人延べ宿泊数
2017年度外国人平均宿泊日数(周辺含む) 1.5泊
- 国立公園での外国人リピーター率
2017年度外国人リピーター率(2回目～) 20.0%
- 満足度
「大変満足」の割合 53.0%
(国立公園訪問者アンケート ※母数が185名のため、参考数値)

これまでの成果

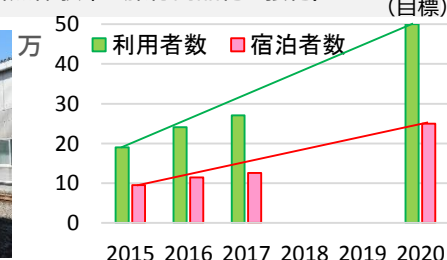
ハード整備を中心に、受入態勢整備が進む

- ◆案内標識多言語化(観光庁・文化庁の多言語解説整備支援事業と連携)、トイレ洋式化
- ◆案内機能の強化
 - ・JNTOカテゴリー2(※)の案内所「奥日光インフォメーションセンター」開所(公園周辺で4箇所目)
 - ※少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。
- ◆国立公園にアクセス・公園内を周遊する新たな交通手段の整備
 - ・日光国立公園内を横断するバス「日光・那須満喫ライナー」の運行
 - ・レンタサイクル「奥日光サイクルシェア」運用開始
 - ・東武鉄道「SL大樹」、「特急リパティ」、JR改造車両「いろは」等、新たな列車の運行開始
 - ・空港や首都圏からの新規高速バス路線の運行開始
 - ・観光タクシー、空港からや、観光地間の定額タクシーの運行開始
 - ・繁忙期のパーク&バスライド実施、駅からの送迎シャトルバスの運行(渋滞対策)
- ◆多言語マップ、パンフレット等の作成 ※英・中・韓だけでなく、タイ語、フランス語、スペイン語等でも作成
- ◆栃木DESTINATIONキャンペーン等と連携した取組
 - ・二社一寺ライトアップ、星空観察、ロープウェイ夜間運行、夜桜花見など、夜間のイベントの充実
- ◆環境省所管地内の廃屋撤去に向けた手続の開始
- ◆那須平成の森でのカフェスペース整備・試験出店

加速化・強化が必要な取組

ソフト面の強化、プロモーションの実施

- ◆自然ガイドの質の向上
 - ・自然ガイドの組織化、登録・認定制度の検討
 - ・外国語対応力、外国人への接遇力の強化
 - 「ガイド・コンテンツ分科会」で組織化や登録制度等を検討
 - ・那須平成の森を拠点にしたガイド育成システムの構築
(2016年から研修事業を実施中)
 - ・2018年から自然ガイド等外国人対応力向上研修を実施予定
- ◆宿泊増や冬季の誘客に資するコンテンツの充実
 - ・夜間のコンテンツの開発、磨き上げ
 - ・冬季のコンテンツの開発、磨き上げ
 - ・富裕層も含めた外国人目線でのコンテンツの評価
- ◆日光国立公園への誘客プロモーション
 - ・県や市町の海外プロモーションと連携し、日光国立公園をPR
 - ・旅行商品化の促進
(特に、自然に関するPRと自然体験系の旅行商品化の強化)



| 日光 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|--|---|---|--|--|--|
| <p>訪日外国人 国立公園 利用者数 (万人)</p> | <p>利用者数 24.1 宿泊者数 11.5</p> | <p>利用者数 27.1 宿泊者数 12.6</p> | <p>宿泊者数 約15</p> | | <p>利用者数 50 宿泊者数 25</p> |
| <p>特徴①</p> <p>滝・渓谷・湖を 堪能する 水のアクティビティ と多様な温泉</p> |    | <p>コンテンツのリストアップ、磨き上げ、受入体制強化を目的とした ファミトリップ</p> <p>広域周遊モデルコース検討</p> <p>那須高原野営場の専門家による候補地調査と改革内容検討</p> <p>ビーコンを利用した遊歩道での 情報提供検討</p> <p>那須でのQRコードとAR(拡張 現実)を利用した情報提供</p> <p>中禅寺湖におけるレンタサイ クルシステムの試験的導入</p> <p>中禅寺湖における新規遊覧 船就航</p> <p>那須VCにおけるアクティビティ 情報の一元紹介</p> | <p>ビーコンを利用した遊歩道での情報提供試験運用</p> <p>中禅寺湖におけるレンタサイ クルシステムの本格的運用開始</p> <p>中禅寺湖畔における外国人 観光案内所の設置</p> | <p>モデルコースの本格実施 地域でのPDCA</p> <p>那須高原野営場の実施設計</p>  | <p>那須高原野営場の整備</p> |
| <p>特徴②</p> <p>世界レベルの 文化を有する 歴史的 国際観光地</p> | <p>中禅寺湖南岸エリアにおける英国大 使館別荘記念公園周辺の再整備</p> <p>日光東照宮周辺の電線地中化、無電柱化</p> <p>ガイド育成講習の実施</p> | <p>那須平成の森で地元カフェ 試験出店</p> <p>「ザ・リッツ・カールトン日光」の 設計等協議</p> <p>中禅寺湖周辺、特に南岸エリアの活性化対策検討</p> <p>ガイド関係者の組織化（登録制度）の検討</p> | <p>那須平成の森でのカフェ本格実施</p> <p>日光湯元での廃屋撤去実施</p> <p>外国人対応強化研修の実施</p> | <p>廃屋撤去跡地の園地整備</p>  <p>アフター-DC</p>  | <p>「ザ・リッツ・カールトン日光」の開業</p>  |
| <p>特徴③</p> <p>東京圏で日本の 自然・歴史・文化 を体感</p> |   | <p>日光・那須満喫ライナー（バス）の試験運行</p> <p>栃木ディステーションキャン ペーン（DC）、イベント</p> <p>山の日全国大会（那須）</p> <p>JR豪華寝台列車「四季島」の 日光駅停車</p> <p>東武鉄道SL復活</p> | <p>栃木DC</p> <p>JR改造車両「いろは」 運行開始</p> | <p>アフター-DC</p> | <p>本物の 出会い 栃木</p> <p>「本物の出会い 栃木」 ディステーションキャンペーン 2018 4/1▶6/30</p> |